

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 29 年 3 月 30 日 (2017.3.30)

【公表番号】特表 2016-514919 (P2016-514919A)  
 【公表日】平成 28 年 5 月 23 日 (2016.5.23)  
 【年通号数】公開・登録公報 2016-031  
 【出願番号】特願 2016-505488 (P2016-505488)  
 【国際特許分類】

H 0 4 W 56/00 (2009.01)

H 0 4 W 8/00 (2009.01)

H 0 4 W 84/18 (2009.01)

【 F I 】

H 0 4 W 56/00

H 0 4 W 8/00 1 1 0

H 0 4 W 84/18

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 2 月 22 日 (2017.2.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ワイヤレス通信装置を同期する方法であって、

発見時間期間の発見時間間隔の間に同期メッセージを送信するための、競合ベースのプロセスを開始すること、前記同期メッセージは、前記ワイヤレス通信装置のタイムスタン  
プを備える、と、

前記ワイヤレス通信装置のマスター優先値に基づいて、前記発見間隔の間に前記同期メ  
 ッセージを選択的に送信すること、前記マスター優先値は、1 つまたは複数の特性、能力  
、および特徴に基づいて前記ワイヤレス通信装置によって設定される、と

を備える、方法。

【請求項 2】

前記マスター優先値は、アンカーフラグと、ホップインジケータと、優先インジケータ  
 を備える発見優先値とを備える、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記マスター優先値は、同期時間経過インジケータをさらに備える、

請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記ワイヤレス通信装置は、アンカーノードであるとき、前記アンカーフラグをアサー  
 トすることをさらに備える、

請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記ワイヤレス通信装置がアンカーノードであるとき、前記同期時間経過インジケータ  
 をすべて 1 に設定することと、前記ワイヤレス通信装置が非アンカー付きネットワーク中  
 にあるとき、前記同期時間経過インジケータをすべて 0 に設定することと、それら以外  
 の場合、0 と、同期ノードの同期時間経過インジケータから前記同期ノードとの同期から経

過した発見区間の数を引いたものとの大きい方に、前記同期時間経過インジケータを設定すること

をさらに備える、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 6】

前記ワイヤレス通信装置の 1 つまたは複数の特性に基づいて前記優先インジケータを設定することと、前記ワイヤレス通信装置がアンカーノードであるとき、またはアンカーノードからメッセージを受信しているとき、前記ホップインジケータをすべて 1 に設定することと、前記ワイヤレス通信装置が非アンカー付きネットワーク中にあるとき、前記ホップインジケータをすべて 0 に設定することと、それら以外の場合、0 と最高の観測されるホップインジケータから 1 を引いたものとの大きい方に、前記ホップインジケータを設定することと

をさらに備える、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 7】

前記ワイヤレス通信装置において、タイムスタンプを各々備える 1 つまたは複数の受信される同期メッセージを受信すること、前記 1 つまたは複数の受信される同期メッセージは、1 つまたは複数のマスター優先値と関連付けられる、と、

少なくとも 1 つの受信される同期メッセージが、前記ワイヤレス通信装置の前記マスター優先値以上のマスター優先値および前記ワイヤレス通信装置の発見優先値以上の発見優先値と関連付けられるとき、前記同期メッセージを送信するのを控えることと

をさらに備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記装置が前記発見時間間隔の間に同期メッセージを送信しており、前記ワイヤレス通信装置の発見優先値より高い発見優先値と関連付けられる、または、前記ワイヤレス通信装置の前記発見優先値に等しい発見優先値および前記ワイヤレス通信装置の前記マスター優先値より高いマスター優先値と関連付けられる同期メッセージを受信していないとき、少なくとも 1 つの後続の送信時間の間に、前記マスター優先値を備える 1 つまたは複数の追加の同期メッセージを選択的に送信することをさらに備える、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記マスター優先値は、フレーム制御フィールド、ソースアドレスフィールド、宛先アドレスフィールド、近隣認識ネットワーク (NAN) 基本サービスセット識別情報 (BSSID) フィールド、能力フィールド、および情報要素 (IE) の 1 つまたは複数に含まれる、または、前記少なくとも 1 つの後続の送信時間は、ターゲットビーコン送信時間またはビーコン区間を備える、

請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

複数の発見時間期間にわたって前記同期メッセージを準備するための頻度に対応する確率値に基づいて、前記同期メッセージを送信のために選択的に準備することをさらに備える、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

ワイヤレスネットワーク中のデバイスの数、1 つまたは複数のターゲット競合デバイス、および 1 つまたは複数の閾値の確率に基づいて、前記確率値を決定すること

をさらに備える、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記ワイヤレス通信装置のマスター優先値以上のマスター優先値と関連付けられる同期メッセージを受信したことに応答して、前記同期メッセージの送信を取り消すことをさらに備える、

請求項 10 に記載の方法。

【請求項 13】

前記ワイヤレス通信装置がマスター選定プロセスをサポートしないとき、前記ワイヤレス通信装置のマスター優先値を最小値に設定することをさらに備える、  
請求項 1 に記載の方法。

【請求項 14】

ワイヤレス通信ネットワークにおいて同期するための装置であって、

発見時間期間の発見時間間隔の間に同期メッセージを送信するための、競合ベースのプロセスを開始するための手段、前記同期メッセージは、前記装置のタイムスタンプを備える、と、

前記装置のマスター優先値に基づいて、前記発見間隔の間に前記同期メッセージを選択的に送信するための手段、前記マスター優先値は、1 つまたは複数の特性、能力、および特徴に基づいて前記ワイヤレス通信装置によって設定される、と

を備える、装置。

【請求項 15】

実行されると、少なくとも 1 つのコンピュータに、請求項 1 乃至 13 のうちのいずれか 1 項に記載の方法を実行させる実行可能な命令を備える、コンピュータプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0201

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0201】

[0220]同様に、動作は特定の順序で図面に示されているが、これは、望ましい結果を達成するために、そのような動作が、示される特定の順序でまたは順番に実行されること、あるいはすべての図示の動作が実行されることが必要であると理解されるべきでない。特定の状況では、マルチタスキングおよび並列処理が有利であり得る。その上、上で説明された実装形態の様々なシステムコンポーネントの分離は、すべての実装形態においてそのような分離を必要とするものとして理解されるべきではなく、説明されるプログラムコンポーネントおよびシステムは、一般に、単一のソフトウェア製品に一体化されてよく、または複数のソフトウェア製品にパッケージングされてよいことを理解されたい。加えて、他の実装形態も、以下の特許請求の範囲内に含まれる。いくつかの場合には、特許請求の範囲に記載される行為は、異なる順序でも実行されることがあり、それでも望ましい結果を達成し得る。

以下に、出願当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。

[C1]

ワイヤレス通信装置を同期する方法であって、

発見時間期間の発見時間間隔の間に同期メッセージを送信するための、競合ベースのプロセスを開始すること、前記同期メッセージは、前記ワイヤレス通信装置の第 1 のタイムスタンプを備える、と、

前記ワイヤレス通信装置のマスター優先値に基づいて、前記発見間隔の間に前記同期メッセージを選択的に送信することと

を備える、方法。

[C2]

前記マスター優先値は、アンカーフラグと、ホップインジケータと、優先インジケータを備える発見優先値とを備える、

C1 に記載の方法。

[C3]

前記マスター優先値は、同期時間経過インジケータをさらに備える、

C2 に記載の方法。

[C4]

前記ワイヤレス通信装置は、アンカーノードであるとき、前記アンカーフラグをアサー

トすることをさらに備える、  
C 2 に記載の方法。

[ C 5 ]

前記ワイヤレス通信装置がアンカーノードであるとき、前記同期時間経過インジケータ  
をすべて 1 に設定することと、前記ワイヤレス通信装置が非アンカー付きネットワーク中  
にあるとき、前記同期時間経過インジケータをすべて 0 に設定することと、それら以外  
の場合、0 と、同期ノードの同期時間経過インジケータから前記同期ノードとの同期から経  
過した発見区間の数を引いたものとの大きい方に、前記同期時間経過インジケータを設定  
することと

をさらに備える、C 3 に記載の方法。

[ C 6 ]

前記ワイヤレス通信装置の 1 つまたは複数の特性に基づいて前記優先インジケータを設  
定することと、前記ワイヤレス通信装置がアンカーノードであるとき、またはアンカーノ  
ードからメッセージを受信しているとき、前記ホップインジケータをすべて 1 に設定する  
ことと、前記ワイヤレス通信装置が非アンカー付きネットワーク中にあるとき、前記ホッ  
プインジケータをすべて 0 に設定することと、それら以外の場合、0 と最高の観測される  
ホップインジケータから 1 を引いたものとの大きい方に、前記ホップインジケータを設定  
することと

をさらに備える、C 2 に記載の方法。

[ C 7 ]

前記ワイヤレス通信装置において、タイムスタンプを各々備える 1 つまたは複数の受信  
される同期メッセージを受信すること、前記 1 つまたは複数の受信される同期メッセージ  
は、1 つまたは複数のマスター優先値と関連付けられる、と、

少なくとも 1 つの受信される同期メッセージが、前記ワイヤレス通信装置の前記マスタ  
ー優先値以上のマスター優先値および前記ワイヤレス通信装置の発見優先値以上の発見優  
先値と関連付けられるとき、前記同期メッセージを送信するのを控えることと

をさらに備える、C 1 に記載の方法。

[ C 8 ]

前記装置が前記発見時間間隔の間に同期メッセージを送信しており、前記ワイヤレス通  
信装置の発見優先値より高い発見優先値と関連付けられる、または、前記ワイヤレス通信  
装置の前記発見優先値に等しい発見優先値および前記ワイヤレス通信装置の前記マスタ  
ー優先値より高いマスター優先値と関連付けられる同期メッセージを受信していないとき、  
少なくとも 1 つの後続の送信時間の間に、前記マスター優先値を備える 1 つまたは複数の  
追加の同期メッセージを選択的に送信することをさらに備える、

C 1 に記載の方法。

[ C 9 ]

前記マスター優先値は、フレーム制御フィールド、ソースアドレスフィールド、宛先ア  
ドレスフィールド、近隣認識ネットワーク ( N A N ) 基本サービスセット識別情報 ( B S  
S I D ) フィールド、能力フィールド、および情報要素 ( I E ) の 1 つまたは複数に含ま  
れる、

C 8 に記載の方法。

[ C 1 0 ]

前記少なくとも 1 つの後続の送信時間は、ターゲットビーコン送信時間またはビーコン  
区間を備える、

C 8 に記載の方法。

[ C 1 1 ]

複数の発見時間期間にわたって前記同期メッセージを準備するための頻度に対応する確  
率値に基づいて、前記同期メッセージを送信のために選択的に準備することをさらに備え  
る、

C 1 に記載の方法。

[ C 1 2 ]

ワイヤレスネットワーク中のデバイスの数、1つまたは複数のターゲット競合デバイス、および1つまたは複数の閾値の確率に基づいて、前記確率値を決定することをさらに備える、C 1 1に記載の方法。

[ C 1 3 ]

前記ワイヤレス通信装置のマスター優先値以上のマスター優先値と関連付けられる同期メッセージを受信したことに応答して、前記同期メッセージの送信を取り消すことをさらに備える、  
C 1 1に記載の方法。

[ C 1 4 ]

前記ワイヤレス通信装置がマスター選定プロセスをサポートしないとき、前記ワイヤレス通信装置のマスター優先値を最小値に設定することをさらに備える、  
C 1に記載の方法。

[ C 1 5 ]

ワイヤレスネットワークの同期のために構成されるワイヤレス通信装置であって、  
発見時間期間の発見時間間隔の間に同期メッセージを送信するための、競合ベースのプロセスを開始するように構成されるプロセッサ、前記同期メッセージは、前記ワイヤレス通信装置の第1のタイムスタンプを備える、と、  
前記ワイヤレス通信装置のマスター優先値に基づいて、前記発見間隔の間に前記同期メッセージを選択的に送信するように構成される送信機と  
を備える、ワイヤレス通信装置。

[ C 1 6 ]

前記マスター優先値は、アンカーフラグと、ホップインジケータと、優先インジケータとを備える、  
C 1 5に記載の装置。

[ C 1 7 ]

前記マスター優先値は、同期時間経過インジケータをさらに備える、  
C 1 6に記載の装置。

[ C 1 8 ]

前記プロセッサは、前記ワイヤレス通信装置がアンカーノードであるとき、前記アンカーフラグをアサートするようにさらに構成される、C 1 6に記載の装置。

[ C 1 9 ]

前記プロセッサは、前記ワイヤレス通信装置がアンカーノードであるとき、前記同期時間経過インジケータをすべて1に設定し、前記ワイヤレス通信装置が非アンカー付きネットワーク中にあるとき、前記同期時間経過インジケータをすべて0に設定し、それら以外の場合、0と、同期ノードの同期時間経過インジケータから前記同期ノードとの同期から経過した発見区間の数を引いたものとの大きい方に、前記同期時間経過インジケータを設定するようにさらに構成される、  
C 1 6に記載の装置。

[ C 2 0 ]

前記プロセッサは、前記ワイヤレス通信装置の1つまたは複数の特性に基づいて前記優先インジケータを設定し、前記ワイヤレス通信装置がアンカーノードであるとき、またはアンカーノードからメッセージを受信しているとき、前記ホップインジケータをすべて1に設定し、前記ワイヤレス通信装置が非アンカー付きネットワーク中にあるとき、前記ホップインジケータをすべて0に設定し、それら以外の場合、0と最高の観測されるホップインジケータから1を引いたものとの大きい方に、前記ホップインジケータを設定するようにさらに構成される、  
C 1 6に記載の装置。

[ C 2 1 ]

1つまたは複数のマスター優先値と関連付けられる1つまたは複数の受信された同期メ

ッメッセージを受信するように構成される受信機をさらに備え、前記送信機は、少なくとも1つの受信される同期メッセージが、前記ワイヤレス通信装置の前記マスター優先値以上のマスター優先値および前記ワイヤレス通信装置の発見優先値以上の発見優先値と関連付けられるとき、前記同期メッセージを送信するのを控えるように構成される、

C 1 5 に記載の装置。

[ C 2 2 ]

前記送信機は、前記装置が、前記発見時間間隔の間に同期メッセージを送信しており、前記ワイヤレス通信装置の発見優先値より高い発見優先値と関連付けられる、または、前記ワイヤレス通信装置の前記発見優先値に等しい発見優先値および前記ワイヤレス通信装置の前記マスター優先値より高いマスター優先値と関連付けられる同期メッセージを受信していないとき、少なくとも1つの後続の送信時間の間に、前記マスター優先値を備える1つまたは複数の追加の同期メッセージを送信するようにさらに構成される、

C 1 5 に記載の装置。

[ C 2 3 ]

前記マスター優先値は、フレーム制御フィールド、ソースアドレスフィールド、宛先アドレスフィールド、近隣認識ネットワーク ( N A N ) 基本サービスセット識別情報 ( B S S I D ) フィールド、能力フィールド、および情報要素 ( I E ) の1つまたは複数に含まれる、

C 2 2 に記載の装置。

[ C 2 4 ]

前記少なくとも1つの後続の送信時間は、ターゲットビーコン送信時間またはビーコン区間を備える、

C 2 2 に記載の装置。

[ C 2 5 ]

複数の発見時間期間にわたって前記同期メッセージを準備するための頻度に対応する確率値に基づいて、前記同期メッセージを送信のために選択的に準備するように構成されるプロセッサをさらに備える、

C 1 5 に記載の装置。

[ C 2 6 ]

前記プロセッサは、ワイヤレスネットワーク中のデバイスの数、1つまたは複数のターゲット競合デバイス、および1つまたは複数の閾値の確率に基づいて、前記確率値を決定するようにさらに構成される、

C 2 5 に記載の装置。

[ C 2 7 ]

前記プロセッサは、前記ワイヤレス通信装置のマスター優先値以上のマスター優先値と関連付けられる同期メッセージを受信したことに応答して、前記同期メッセージの送信を取り消すように構成される、

C 2 5 に記載の装置。

[ C 2 8 ]

前記プロセッサは、前記ワイヤレス通信装置がマスター選定プロセスをサポートしないとき、前記ワイヤレス通信装置のマスター優先値を最小値に設定するようにさらに構成される、

C 1 5 に記載の装置。

[ C 2 9 ]

ワイヤレス通信ネットワークにおいて同期するための装置であって、

発見時間期間の発見時間間隔の間に同期メッセージを送信するための、競合ベースのプロセスを開始するための手段、前記同期メッセージは、前記装置の第1のタイムスタンプを備える、と、

前記装置のマスター優先値に基づいて、前記発見間隔の間に前記同期メッセージを選択的に送信するための手段と

を備える、装置。

[ C 3 0 ]

前記マスター優先値は、アンカーフラグと、ホップインジケータと、優先インジケータとを備える、

C 2 9 に記載の装置。

[ C 3 1 ]

前記マスター優先値は、同期時間経過インジケータをさらに備える、

C 3 0 に記載の装置。

[ C 3 2 ]

前記装置がアンカーノードであるとき、前記アンカーフラグをアサートするための手段をさらに備える、

C 3 0 に記載の装置。

[ C 3 3 ]

前記ワイヤレス通信装置が非アンカー付きネットワーク中にあるとき、前記同期時間経過インジケータをすべて 0 に設定し、それ以外の場合、0 と、同期ノードの同期時間経過インジケータから前記同期ノードとの同期から経過した発見区間の数を引いたものとの大きい方に、前記同期時間経過インジケータを設定するための手段をさらに備える、

C 3 1 に記載の装置。

[ C 3 4 ]

前記装置の 1 つまたは複数の特性に基づいて前記優先インジケータを設定し、前記装置がアンカーノードであるとき、またはアンカーノードからメッセージを受信しているとき、前記ホップインジケータをすべて 1 に設定し、前記装置が非アンカー付きネットワーク中にあるとき、前記ホップインジケータをすべて 0 に設定し、それら以外の場合、0 と最高の観測されるホップインジケータから 1 を引いたものとの大きい方に、前記ホップインジケータを設定するための手段をさらに備える、

C 3 0 に記載の装置。

[ C 3 5 ]

前記装置において、1 つまたは複数のマスター優先値と関連付けられる 1 つまたは複数の受信される同期メッセージを受信するための手段と、

少なくとも 1 つの受信される同期メッセージが、前記ワイヤレス通信装置の前記マスター優先値以上のマスター優先値および前記ワイヤレス通信装置の発見優先値以上の発見優先値と関連付けられるとき、前記同期メッセージを送信するのを控えるための手段と

をさらに備える、C 2 9 に記載の装置。

[ C 3 6 ]

前記装置が前記発見時間間隔の間に同期メッセージを送信しており、前記ワイヤレス通信装置の発見優先値より高い発見優先値と関連付けられる、または、前記ワイヤレス通信装置の前記発見優先値に等しい発見優先値および前記ワイヤレス通信装置の前記マスター優先値より高いマスター優先値と関連付けられる同期メッセージを受信していないとき、少なくとも 1 つの後続の送信時間の間に、前記マスター優先値を備える 1 つまたは複数の追加の同期メッセージを選択的に送信するための手段をさらに備える、

C 2 9 に記載の装置。

[ C 3 7 ]

前記マスター優先値が、フレーム制御フィールド、ソースアドレスフィールド、宛先アドレスフィールド、近隣認識ネットワーク ( N A N ) 基本サービスセット識別情報 ( B S S I D ) フィールド、能力フィールド、および情報要素 ( I E ) の 1 つまたは複数に含まれる、

C 3 6 に記載の装置。

[ C 3 8 ]

前記少なくとも 1 つの後続の送信時間は、ターゲットビーコン送信時間またはビーコン区間を備える、

C 3 6 に記載の装置。

[ C 3 9 ]

複数の発見時間期間にわたって前記同期メッセージを準備するための頻度に対応する確率値に基づいて、前記同期メッセージを送信のために選択的に準備するための手段をさらに備える、

C 2 9 に記載の装置。

[ C 4 0 ]

ワイヤレスネットワーク中のデバイスの数、1つまたは複数のターゲット競合デバイス、および1つまたは複数の閾値の確率に基づいて、前記確率値を決定するための手段をさらに備える、

C 3 9 に記載の装置。

[ C 4 1 ]

前記装置のマスター優先値以上のマスター優先値と関連付けられる同期メッセージを受信したことに応答して、前記同期メッセージの送信を取り消すための手段をさらに備える、

C 3 9 に記載の装置。

[ C 4 2 ]

前記装置がマスター選定プロセスをサポートしないとき、前記装置のマスター優先値を最小値に設定するための手段をさらに備える、

C 2 9 に記載の装置。

[ C 4 3 ]

実行されると、ワイヤレス通信装置に、

発見時間期間の発見時間間隔の間に同期メッセージを送信するための、競合ベースのプロセスを開始すること、前記同期メッセージは、前記ワイヤレス通信装置の第1のタイムスタンプを備える、と、

前記ワイヤレス通信装置のマスター優先値に基づいて、前記発見間隔の間に前記同期メッセージを選択的に送信することと

を行わせるコードを備える、非一時的コンピュータ可読媒体。

[ C 4 4 ]

前記マスター優先値は、アンカーフラグと、ホップインジケータと、優先インジケータとを備える、

C 4 3 に記載の媒体。

[ C 4 5 ]

前記マスター優先値は、同期時間経過インジケータを備える、

C 4 4 に記載の媒体。

[ C 4 6 ]

実行されると、前記ワイヤレス通信装置に、前記媒体がアンカーノードであるときに前記アンカーフラグをアサートすることを行わせるコードをさらに備える、

C 4 4 に記載の媒体。

[ C 4 7 ]

実行されると、前記ワイヤレス通信装置に、前記ワイヤレス通信装置が非アンカー付きネットワーク中にあるとき、前記同期時間経過インジケータをすべて0へ設定させ、それ以外の場合、0と、同期ノードの同期時間経過インジケータから前記同期ノードとの同期から経過した発見区間の数を引いたものとの大きい方へ、前記同期時間経過インジケータを設定することを行わせるコードをさらに備える、

C 4 4 に記載の媒体。

[ C 4 8 ]

実行されると、前記ワイヤレス通信装置に、前記媒体の1つまたは複数の特性に基づいて前記優先インジケータを設定させ、前記媒体がアンカーノードであるとき、またはアンカーノードからメッセージを受信しているとき、前記ホップインジケータをすべて1へ設



定させ、前記媒体が非アンカー付きネットワーク中にあるとき、前記ホップインジケータをすべて 0 へ設定させ、それら以外の場合、0 と最高の観測されるホップインジケータから 1 を引いたものとの大きい方へ、前記ホップインジケータを設定することを行わせるコードをさらに備える、

C 4 4 に記載の媒体。

[ C 4 9 ]

実行されると、前記装置に、

前記ワイヤレス通信装置において、1 つまたは複数のマスター優先値と関連付けられる 1 つまたは複数の受信される同期メッセージを受信することと、

少なくとも 1 つの受信される同期メッセージが、前記ワイヤレス通信装置の前記マスター優先値以上のマスター優先値および前記ワイヤレス通信装置の発見優先値以上の発見優先値と関連付けられるとき、前記同期メッセージを送信するのを控えることと

を行わせるコードをさらに備える、C 4 3 に記載の媒体。

[ C 5 0 ]

実行されると、前記装置に、前記装置が前記発見時間間隔の間に同期メッセージを送信しており、前記ワイヤレス通信装置の発見優先値より高い発見優先値と関連付けられる、または、前記ワイヤレス通信装置の前記発見優先値に等しい発見優先値および前記ワイヤレス通信装置の前記マスター優先値より高いマスター優先値と関連付けられる同期メッセージを受信していないとき、少なくとも 1 つの後続の送信時間の間に、前記マスター優先値を備える 1 つまたは複数の追加の同期メッセージを選択的に送信することを行わせるコードをさらに備える、

C 4 3 に記載の媒体。

[ C 5 1 ]

前記マスター優先値は、フレーム制御フィールド、ソースアドレスフィールド、宛先アドレスフィールド、近隣認識ネットワーク (NAN) 基本サービスセット識別情報 (BSSID) フィールド、能力フィールド、および情報要素 (IE) の 1 つまたは複数に含まれる、

C 5 0 に記載の媒体。

[ C 5 2 ]

前記少なくとも 1 つの後続の送信時間は、ターゲットビーコン送信時間またはビーコン区間を備える、

C 5 0 に記載の媒体。

[ C 5 3 ]

実行されると、前記装置に、複数の発見時間期間にわたって前記同期メッセージを準備するための頻度に対応する確率値に基づいて、前記同期メッセージを送信のために選択的に準備することを行わせるコードをさらに備える、

C 4 3 に記載の媒体。

[ C 5 4 ]

実行されると、前記装置に、ワイヤレスネットワーク中のデバイスの数、1 つまたは複数のターゲット競合デバイス、および 1 つまたは複数の閾値の確率に基づいて、前記確率値を決定することを行わせるコードをさらに備える、

C 5 3 に記載の媒体。

[ C 5 5 ]

実行されると、前記装置に、前記ワイヤレス通信装置のマスター優先値以上のマスター優先値と関連付けられる同期メッセージを受信したことに応答して、前記同期メッセージの送信を取り消すことをさらに行わせるコードをさらに備える、

C 5 3 に記載の媒体。

[ C 5 6 ]

実行されると、前記装置に、前記ワイヤレス通信装置がマスター選定プロセスをサポートしないとき、前記ワイヤレス通信装置のマスター優先値を最小値へ設定することを行わ

せるコードをさらに備える、  
C 4 3 に記載の媒体。